

助成者	永石 安明	活動期間	2019年4月～2022年3月
所属機関	公益財団法人 オイスカ	職名	事務局長

ミャンマー中央乾燥地域における青少年を対象とした植林活動と環境教育の推進

【活動場所】 ミャンマー マグウェイ地域イエサジョ郡

【事業目的】 ミャンマーの中央乾燥地では、厳しい気候条件と人口増加等に起因する薪炭林の過伐採のため森林減少など自然荒廃が進み、生物多様性の損失が課題となっている。このため、地域住民や青少年と共に森林保全、地域の水保全につながる森林再生や生物多様性の回復を目指すと共に持続的に取り組むため環境教育活動を行う。

学校での植林の様子



家庭植林用の苗木配布



【活動内容】

①植林・育林活動：コロナや2021年2月クーデター発生などにより人を集めることが困難な状況が続く中、学校や地域と調整して小規模な植林活動を継続的に実施。また家庭での植林を取り入れることとし苗木を配布。学校での植林は9校で432本実施し、家庭での植林を16校で1544本配布。合計1976本の植林実績となり、1277名が植林へ参加。

②環境教育活動：長距離移動を伴う集会の開催不可のため予定したセミナーは実施できず、学校へ集まった際に都度育林指導を実施。また家庭での植林に対して子どもたちへは、苗木の成長や管理の日記などで記録するように宿題を与えた。

【活動成果】

抑圧された状況が続く中、家庭で過ごす時間が増えた子どもたちにとって、土に触れながら環境や未来を意識し、前を向く機会を提供できた意義は大きく、植林も計画を上回る本数を実施できた。環境保全の意識を止めないように、育樹の状況をモニタリングしながら今後の活動へ繋げていく。重点指定校においてゴミ焼却炉を設置できたが、具体的な有機農業の実践授業が出来ずに先送りとなった。